

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【公表番号】特表2019-507418(P2019-507418A)

【公表日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2018-536751(P2018-536751)

【国際特許分類】

G 06 F 30/23 (2020.01)

【F I】

G 06 F 17/50 6 1 2 H

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月26日(2019.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データ処理装置が実行する、多孔質材料における流体の音響挙動に対する前記多孔質材料の屈曲度の影響を表すデータを処理する方法であって、

前記データ処理装置のデータ処理プログラムが、前記多孔質材料における前記流体の屈曲度の影響を含む音響挙動のモデルであって前記流体の音速を示す時間変数を含むモデルを生成するステップと、

前記多孔質材料における前記流体の前記音速に基づいて前記モデルの前記時間変数を再スケーリングするステップと、

前記モデル内の前記時間変数の前記再スケーリングに基づいて、前記多孔質材料の前記屈曲度の影響を含む前記音響挙動をシミュレートするステップと、
を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記多孔質材料の前記屈曲度の前記影響を含む前記モデル内の音響挙動を決定するステップをさらに含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記音響挙動は、音波の消失及び伝播を含む、

請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記時間変数を再スケーリングするステップは、1つのシミュレーション時間ステップによって表される時間を調整するステップを含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記音響挙動をシミュレートするステップは、前記多孔質材料を通る又は該多孔質材料内の流体流をシミュレートするステップを含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記モデルは、前記多孔質材料の音響損失を考慮した運動量シンクを含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記流体の公称音速と、前記多孔質材
料における前記流体の前記音速とに基づく、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記流体は要素によって表され、該要素は、前記流体内の質量、密度、運動量、圧力、
速度、温度、エネルギー、質量流束、運動量流束及びエネルギー流束のうちの 1 つ又は 2
つ以上を含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記モデルの温度を再スケーリングす
るステップを含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記モデルの圧力を再スケーリングす
るステップをさらに含む、

請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記流体の速度を再スケーリングする
ステップをさらに含む、

請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記多孔質材料の抵抗を再スケーリン
グするステップをさらに含む、

請求項 9 に記載の方法。